この子らと

令和２年６月

5 まことの保育

コロナはいつ終息か

ノーベル医学・生理学賞受賞者であり京都大学山中伸弥教授がコロナウィルスについて次のように話しておられます。

新型コロナウィルスは,短距離走ではありません。１年は続く可能性のある長いマラソンです。

アメリカジョンズホプキンズ大学のデータによると全世界の感染者の累計は,120万人を突破,死亡した人は,6 万人を大きく超えています。(2020 年 4 月 5 日 13 時現在)

WHO(世界保健機構)の基準では,ウィルスの潜伏期間の 2 倍の期間,世界中の感染者が新たに発生しなければ終息宣言となります。少なくとも 4 週間,感染者数がゼロにならない限り,ウィルスの戦いは終わりません。(**終息宣言は 4 週間,感染者数ゼロの時**)

効果的なワクチンや治療薬も開発されるでしょうがその未来がやってくるのは,年単位の時間がかかります。長期間で臨むことを覚悟するしかありません。

行事等の中止,延期,縮小としばらくは,子どもたちも,保護者の皆さま,そして職員もコロナウィルスはとの戦いは続くようです。今は,我慢のとき,必ず終息することを信じてふんばっていきたいですね。

幸せという花があるとすれば　その花のつぼみのようなものだろう
辛いという字がある　もう少しで幸せになれそうな字である
星野富弘　詩画集「すいせん」

ちょっと一息（閑話）

自然の中にわたしがいること
道ばたの石ころも　ひっそりと咲く一輪の花も
どこまでも広がる青い空も　ぽっかりと
浮かぶ白い雲も　水も　雲も　虫も
全てのものは　語りかければ　何かを教えて
くれます　じっくりと目をこらせば　何かが
見えてきます　静かに耳をすませば　何かが
聞こえてきます　そして　その時　きっと
感じます
自然の中にわたしがいること
私の命があること

令和２年度父母の会三役

会長・副会長４名がそろってご挨拶にご来園されました。

左から久保道子副会長,川畑祥子副会長,前田彩菜会長,熊谷ゆかり副会長の皆さまです。

会員の皆様も三役の方々のお顔とお名前が一致されない方もおられると思いまして写真を掲載させていただきました。コロナウィルスとしばらくは共存しながら父母の会の行事等が実施できればと話されておりました。